

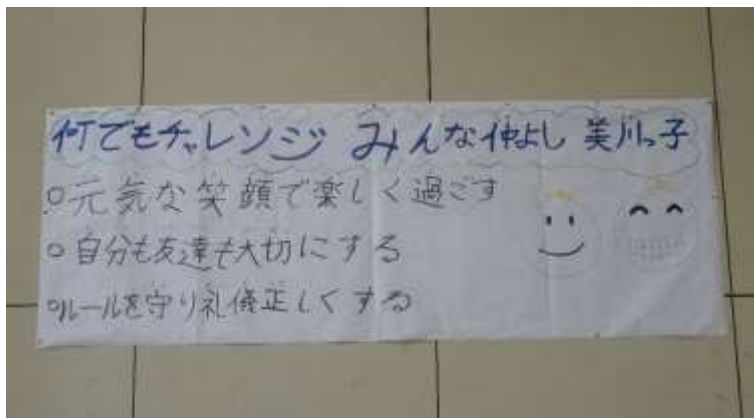
美川っ子

R4. 5. 24 文責 大達高弘

美川っ子のめあて決定！！

学校では、子どもたちが様々な場面で自分の目標やめあてを立てます。何かを行う際に、目標やめあてを立てるとするのは、どの学校においてもそうですし、大人になっても同じだと思います。目標やめあてというのは、絶対になければならないというものではありません。しかし、目標やめあてがあることで進むべき方向性が明確になったり、意欲ややる気が喚起されたり、目標やめあての達成具合を見ながら自分の置かれた現状を確かめたりすることができます。言い換えれば、目標やめあてというのは、ゴールであったり、目指すべき目的地のようなものであったり、あるいはエネルギーの源だったりするものかもしれません。

【美川っ子のめあて】は、子どもたちがこの1年をかけて、どんな自分達（美川っ子）になりたいのかを具体的に表したものです。4月に学校の合言葉【**み・か・わ ～みんなが かがやく わたしたちの学校**】の実現を目指してスタートし、子どもたちなりにこの合言葉を実現するためにどうあるべきなのかを考えた結果が、この美川っ子のめあてです。6年生が中心となり、各学年から集めた意見を集約して、わかりやすい文言にして作ってくれました。全校の思いを汲み、みんなの思いをつなげていこうと一生懸命に考えてくれたのでした。



美川っ子のめあては、写真のように体育館の前壁に貼ってあります。全校のみんなが意識して生活することができるようにするためです。美川っ子のめあてが全学年に浸透し、一人一人がその実現に向けて努力し、達成に近づいていけば、美川小学校の合言葉【**みんなが かがやく わたしたちの学校**】も実現していくと思います。素晴らしいめあてを作ってくれた6年生はもちろん、自分達の思いをしっかりと出してくれた1～5年生、すべての美川っ子に拍手を送ります。

大切なのはここからです。目標やめあては立てることが目標ではありません。その実現を目指して努力していくことが大切なのです。ゆっくりでもいい。75名の美川っ子が、自他を尊重し、みんなで協力しながら、このめあての達成に向けて努力し、挑戦し続けてくれることを信じています。美川っ子の頑張りにご期待ください。

挑戦 陸上大会に向けて…

今年度の浜田市小学校陸上競技大会は5月26日（木）に予定されています。市内の新型コロナウイルスの感染状況によっては開催が心配されますが、子どもたちは4月20日（水）から、放課後を使った陸上練習に取り組んできました。この大会は4年生以上が対象で、感染症対策として大会の規模を縮小し、選手のみが参加して開催されます。しかし、美川小学校ではたくましい体と心づくりを目指して、4年生以上全員で練習に取り組んできました。なんとか大会が無事に開催されることを願うばかりです。



準備運動：全員でジョギング



動きづくり



スタート練習



50mダッシュ

大会ですから、当然、子どもたちは大会での好成績、上位入賞を狙っていると思います。もちろん、それぐらいの気概がないといけません。しかし、必ずしも期待する結果が出るわけではありません。私は、この陸上練習そして大会を、子どもたち自身の【挑戦】の場・機会だという風に考えています。自分の限界を超える挑戦、自己記録への挑戦、すなわち心と体の成長への挑戦です。やらされる練習ではなく、自分のための練習を本気でやり続けた時、今回の挑戦の大きな成果が表れるはずです。練習開始時と比べて、大会終了後にはひと回り成長し、たくましくなった美川っ子の姿が見られることを期待しています。頑張れ、美川っ子！！

今年度もお世話になります！

読み聞かせスタート

子どもたちが毎週楽しみにしている、読み聞かせボランティアのみなさんによる朝の読み聞かせが5月11日（水）に始まりました。子どもたちとの距離をとったり、絵本を大型提示装置に映し出して、子どもと読み手が対面にならないようにしたりするなどの工夫をしていただきながら読んでいただいています。

美川っ子の心が豊かになってほしい、本の楽しさを知ってほしいというみなさんのお気持ちに支えられ、これまでずっと続いてきた読み聞かせ。子どもたちの目が輝いていました。



野菜の苗を植えました！

5月10日（火）の3・4時間目に、2年生、たんぽぽ学級それぞれに野菜の苗を植えました。まちづくりセンターの岡本さん、地域の野菜作り名人3名（安達さん、長見さん、齋藤さん）の計4名のみなさんにお世話になっての活動でした。子どもたちは、いろいろな種類の野菜の苗をポットから丁寧に取り出し、マルチに空いた穴に植えていきました。大事そうに苗を扱いながら、優しく、優しく土に埋めていました。「これはどうしたらいいですか。」「これでいいですか。」「ちょっと難しいのでやってください。」と自分達から質問したり、お願いしたりと、ただ活動するだけではなく、地域の方と進んでかわりながら苗を植えていました。地域の方に支えられ、こういう豊かな体験ができるのも、この美川小学校、美川地区のよさです。子どもたちの表情はキラキラ輝いていましたが、子どもたちにかかわってくださった4名の皆様もとても素敵で、キラキラと輝いていました。



民生児童委員さんによるあいさつ運動

5月12日（木）から18日（水）の1週間、民生児童委員のみなさんによるあいさつ運動がありました。校舎周辺で、登校してくる子どもたちにあいさつをしてくださいました。子どもの中には、朝、元気が出ずに、あいさつができにくい子どもがいます。自分から先にあいさつができる子どももまだまだ多くはありません。

そんな実態がある中、子どもたちに笑顔で爽やかにあいさつをしていただき、元気を与えてくださいました。挨拶の音が響く学校っていいですね。



危険箇所点検（1年生）

5月17日（火）、1年生が危険箇所点検に出かけました。美川駐在所の野津巡査部長様、美川地区子ども見守り隊の横坂秀文様にご協力いただき、1年生は通学路にある危険箇所（川、橋、用水路、草むらなど）を自分達目で確かめました。普段何とも思わなかった場所に意外な危険が潜んでいるということを、子どもたちは知りました。学校の宝、地域の宝である子どもたちの安全を守るのは大人の役目ではありますが、子どもたち自身にも「自分の身は自分で守る」という当事者意識をもってほしいと考えます。学校でも引き続き声をかけながら、子どもたちの安全意識の向上に努めていきたいと思ひます。



田植えをしました！！（5年生）

5月16日（月）、5年生17人が四中の田植えに参加させていただきました。頼もしい中学生、かわいい幼稚園児、そしてたくさんの地域ボランティアの皆様と一緒に汗を流しました。四中校区では地域の皆様に支えられながら、たくさんの教育活動を進めることができている。毎年、当たり前のように行われているこの田植えも、決して当たり前のことではなく、地域の皆様の、地域のよさを伝承したいという思い、子どもたちのためにという温かい心によって続けることができていると思うのです。まさに、美川のみんながかがやく素晴らしい活動だと思いました。



～田植えの感想～

私は、初めて田植えをしました。最初は植えるのが特に難しかったけど、地域の方々や先生方などが優しく教えてくださったので、うまくできるようになりました。美川は、人が優しく、川、山、田があって自然豊かなところだなあとすごく感心しました。幼稚園児や中学生もみんな教え合いながら、楽しそうに植えていたので、とてもいい会になりました。

5年生は、今回の田植えを通して、ふるさとのよさを再発見し、さらに【協働】の大切さにも気付くことができました。本当に豊かな学びをすることができました。コロナ禍において、人と人のつながりが希薄になっていると言われる昨今だからこそ、余計に、人と人のつながりの素晴らしさを実感しました。ご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

6月の主な行事

- 2日（木）外国語（支援員）、授業公開日、雲雀丘小との交流（6年）
- 3日（金）スポーツテスト②③、委員会⑥
- 8日（水）水質調査（4年）、ヒラメ稚魚放流体験（5年）
- 9日（木）修学旅行（6年）、外国語（ALT）
- 10日（金）修学旅行（6年）
- 13日（月）PTA街頭指導開始
- 14日（火）第1回学校評議員会
- 15日（水）SC来校日（PM）
- 16日（木）血液検査（4年）、校外学習（2年）、外国語（支援員）
保幼小連絡会（PM）
- 17日（金）スクールコンサート（AM）、クラブ⑥
- 21日（火）ラブック号
- 23日（木）全校朝礼、外国語（ALT）、内科検診（1・2年）
- 24日（金）委員会⑥、メディアコントロールウィーク（～6/30）
- 30日（木）全校テスト（算）、外国語（支援員）、内科検診（3・4年）

